

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名( 平林産業株式会社 )

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (異などの取得証拠があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・本社総務部に相談窓口を設置している。 ・雇用契約時に性別・雇用条件等により待遇・福利厚生等、全てにおいて平等である旨の説明をしている。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7			
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・本社総務部に相談窓口を設置している。 ・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8							16.1			
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・管理職者が36協定を理解し、残業時間を抑制するように製造シフトを組み、あらゆる製造ロス削減の為に工程管理の見直し、改善を常に心がけている。							8.5 8.8										
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・当社では今まで外国人労働者を雇用した実績はないが、今後、雇用した時を見据えて受入機関と定期的に情報交換をし、適切な対応を取れるように準備している。				4.4				8.7 8.8	10.2 10.3								
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・定期的(月に2回程度)に全社員を対象に研修会を実施し、外部コンサルタントと契約して講習を受けている。				3				8									
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・毎朝、全社員に健康チェックを義務化。体調の変化を把握し、体調不良の者に対して早急な対処が出来るような体制を構築している。 ・【予定】管理職者を対象にメンタルヘルスに関する教育を実施し、相談窓口を設置する。				3													
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・女性を積極的に指導職に登用している。 ・本人の希望を重視し、家事・育児がしやすい勤務体系で雇用している。(休日・勤務時間)					5.1 5.5		8.5	10.2 10.3									
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・指導職者にリーダー研修を積極的に受講させている。 ・管理職者にはセミナーや講習会を受講させ、視野を広げたり、自己スキルアップに積極的に取り組んでいる。 ・新入社員には入社後、外部コンサルタントによる教育を実施している。				4	5.5		8	9									
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・【予定】社会保険労務士に依頼し、人事評価制度の導入を予定している。人事評価制度の導入により、公正な評価・配置・職務内容の見直しを実施する。					5.5		8.5	10.2 10.3									
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・【予定】健康経営優良法人取得				3			8										
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・食物残渣は堆肥原料として再利用、段ボールは資源ゴミとして廃棄している。 ・事務的な書類をデータ化、紙の廃棄を削減している。 ・製造時の歩留向上指導を強化、廃棄を削減している。									11.6	12.4		14.1					
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・中部電気保安協会のエコナビ(電力デマンド監視システム)を導入。使用電力を把握し、夏季の電力使用ピークを抑制して電力使用量削減に取り組んでいる。							7.3					13					
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・照明のLED化を実施。 ・冷蔵・冷凍設備の冷却装置を高効率なものに代替。 ・空調設備を高効率なものに代替。							7.2 7.3			12.4	13.3						
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・【予定】法令で定められている有害化学物質を把握し、使用抑制・削減のための計画を策定する。				3.9		6.3				11.6	12.4						

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (異などの取得証拠があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本		【予定】	・【予定】事業全体における生物多様性への依存と影響を把握し、負の影響を削減するための計画を策定する。						6.6							15					
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・食物残渣は堆肥原料として再利用、段ボールは資源ゴミとして廃棄している。									12.5		14.1							
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・毎朝、水道メーターの数値を確認し、1日の水道水使用量を把握し削減に努めている。						6.4 6.6												
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ						3.9			6	7				12	13.3	14	15				
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ														12.6							
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ										7.2					13						
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ														12.2	13	14	15				
公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・「健全な会社を貫道し、信頼を得る」を社訓のひとつに掲げ、汚職・贈収賄の防止に努めている。														16 16.5				
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・「健全な会社を貫道し、信頼を得る」を社訓のひとつに掲げ、不正競争行為の防止に努めている。														16				
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・「健全な会社を貫道し、信頼を得る」を社訓のひとつに掲げ、不正競争行為の防止に努めている。							8.2 8.3	9										
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・書面の個人情報についてはシリンダー・ナンバーのダブルロック付金庫で保管し厳しく管理している。 ・データについては管理者のみにアクセス権限を持たせ、管理者のみがパスワードによってアクセスできるようにしている。															16			
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																		16			
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ								5				8		10		12	13	14	15	16	17
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	・「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している。(R6年12月までを目途に)			3						8	9	10							17



上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

**【記載留意事項】**

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクスセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格      ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定